

日農ビシット粒剤17

[シハロホップブチル・テニルクロール・ベンスルフロンメチル粒剤]

農林水産省登録 第21740号

有効成分 シハロホップブチル…0.60%
テニルクロール…0.70%
ベンスルフロンメチル…0.17%

性 状 淡褐色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
RACコード：除草[1][15][2]

危険物：- 有効年限：3年 包装：3kg×8

特長

- ノビエの3葉期まで使用可能な初中期一発処理剤です。
- 長い効き目で広範囲の雑草に高い除草効果を示します。

効果、薬害等に関する注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。
- 苗の植付が均一となるように代かきをていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。
- クログワイ及びオモダカに使用する場合には、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用を避ける。
 - 1)砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 2)軟弱な苗を移植した水田
 - 3)極端な浅植の水田及び植付不良で根が田面に露出している状態
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避ける。
- 散布後、数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
- とうもろこし、食用びえ、ソルガムなどイネ科作物の生育を阻害する恐れがあるので、散布水田の水田水をこれらの作物に灌水しない。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物(甲殻類，藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クログワイ オモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層 はく離（北陸・関東・東山・ 東海）	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土～埴土	3kg/10a	1回	湛水散布	全域 (北海道、東北を 除く)の普通期及 び 早期栽培地帯

シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数	テニクロールを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
3回以内	2回以内	2回以内

製品写真



最新の登録内容はこちら

